

令和元年度 奈良県知事賞

「税について」

奈良県立大淀高等学校 一年 加藤 美優

最近、「税」という言葉をよく耳にします。今年の10月から、消費税が8パーセントから、10%に変わります。なぜ、税金は払わないといけないのか、どんなことに税金は使われているのかなどを考える機会が最近になり増えてきました。

税金は、私たちの身の回りのことにたくさん使われています。身の周りだけではなく、将来、もらうことになる年金も税金から出されているみたいです。日本は、多くの借金を抱えています。今の日本は、「少子高齢化」なので、年々働ける世代、若い世代が減ってきているのが現状です。今のままでは、私達が大人になって、仕事を辞めたときに、年金があんまりもらえないかもしれません。充実した老後生活が送れない可能性があります。

最近「リサイクル」という言葉もよく耳にするようになりました。リサイクルという言葉がよく使われるのには、いくつかの理由があると思います。いくつかある理由の1つに、ごみの処分にも税金を使うことが関係しているのではないかなと思います。ごみを捨てるのに、税金がかかっているということは、最近知ったので、今までまだ使えるものでも捨ててしまったりしていました。でも、税金がかかるのを知ってからは、ごみを考えて捨てるようになりました。少しでも使う税金が減るように、無駄使いをしないことはもちろん、まずは身の回り、自分の身近にあることから、気をつけていくということがとても大事なんだなと思いました。

税金は、災害が起こった際に、配布されている毛布や、仮設住宅を建設する時にも使われているみたいです。税金を払うことで、災害にあってしまった方々の手助けができること知って、すごくうれしかったです。

もしも、税金制度がなかったら、私たちの身の回りのことはとても不便になり、災害時にも、誰も助てくれないかもしれません。税金は、私達にとって必要不可欠なものなのです。

中学校に行き、授業を受けていられたのも税金のおかげです。勉強は楽しくないし、めんどくさいけど、私一人が学校に通うためにたくさんの人が頑張って働いて納めた税金が使われているそうです。なので、めんどくさくても、頑張って勉強しなくちゃいけないなと感じました。

今、私達の生活を支えてくれている税金のほとんど、大半は、私が納めたものではなく、大人の人達が毎日汗をかいて働いて納めてくれているものです。だから、私達子供は、大人になったら、今まで自分を支えてくれていた人達のため、これから大人になる子供たちの助け、支えになるように、しっかり納税したいと思います。